



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.5.2 No. 3389

中江・ダイ改闘争勝利を皮切りに 新たな反合 運転保安闘争に起とう

昨日、第八回拡大支部代表を開催
新たな闘いの方針を決定する

五月一日、動力車会館において、第八回拡大支部代表者会議が開催され、統一地方選挙闘争の総括を行うとともに、九一年夏季物販と反合・運転保安闘争に全力で闘う方針を確認した。

長期強靱な闘いを

— 中野委員長あいさつ —

冒頭あいさつに立った中野委員長は、中江選挙への組合員の総決起にお礼を述べるとともに、新たな運転保安闘争にたちあがることを訴えた。安全、運転保安が今ほど脅かされている時はないなかで、現場の現実を本部が直視し、現場の組合員の苦闘を共有して、長期強靱な運転保安確立の闘いを、皆でつくりあげていくことを中野委員長は提起した。

中江市議がいさつ

つづいて三選をかちとった中江昌夫船橋市議がいさつにたち、動労千葉の総決起が船橋での勝利につながったこと、今後は地域に根をはった、攻撃的な闘いを繰り広げると決意を述べた。

運転保安の再確立を

— 田中書記長基調報告 —

中江市議のあいさつの後、田中書記長が以下のとおり基調報告を提起した。

①春から秋へ、反合運転保安闘争を!

分割・民営化の強行、JRへの移行以後、とくに九一・三ダイ改以降運転保安、安全の危機は極めて深刻な状況になっている。九一・三ダイ改でも、注意信号に対する制限速度の十キロアップなど、団交で全く提案されていないことが、現場の指示ひとつで次々と導入されている状況である。現在のJRは、運転保安・規定など、全く無きがごとき状態におかれている。相次ぐ無謀な合理化と、法規・規定すら自己都合のいいように勝手に変えるやり方、JR総連が労働組合の「多数派」である現状によって、いたる所でいつ「第二の東中野事故」がおきてもおかしくない事態がおきている。

しかも全面的な大合理化の攻撃が、これから本格的に始まるうとしていることを考えると、今こそ「闘いなくして安全なし」「安全問題は反合理化闘争の最大の戦略的課題である」という原則的立場にたちきつた闘いを展開しなければならぬ。

したがって春から秋にむけて、組織の総力をあげて反合理化・運転保安確立の闘いの強化・再確立する闘いに全力で決起する。

②まづ徹底的な調査を、そして要求を!

具体的には、なによりも九一・三ダイ

改以降の現場の状況・問題点について全面的に調査を行い、要求に集約する。そのため五月中旬までに、本部を含めて各職場ごとの意見交換・事情聴取を行う。さらに乗務員分科会を中軸にして、プロジェクトチームをつくり、動力車乗務員勤務制度改革↓分割・民営化↓現在にいたる労働条件の変化、規定類の改悪状況等について、早急に調査を行う。

③団交の強化と、職場討議の徹底を!
問題点・要求が集約できしだい、運転保安に関する総合的な要求をまとめ、団体交渉を強化する。さらに職場討議資料の作成と、全組合員の職場討議を深める。

▲全組員△口員の闘いに

こうした取り組みを早急に行いながら春から秋へ長期強靱な、ねばり強い運転保安闘争をつくりあげていく。

さらに夏季物販は、連休明けから直ちに行動できる体制を全支部で確立する。そのうえで五月を「組織強化月間」として、組織強化、団結強化にむけた取り組みを行う。

このように田中書記長は、ダイ改闘争・中江選挙闘争の勝利の地平にたつて、動労千葉の本領である反合・運転保安闘争への、新たな決起の号令を發した。

全組合員の総決起のもと、職場からの本格的闘いで「JR体制」を打ち砕き、運転保安闘争の高揚をかちとろう。